

派遣学生および派遣家庭の義務と宣誓

派遣学生採用試験に合格しても交換学生として不適格であると認められた場合、たとえ前日や派遣後でも派遣を取り消すことがあります。その他、学生および家庭には以下の義務および条件があります。

		派遣中止の要件	
派遣候補生としての義務	オリエンテーションへの参加	別紙 予定表を参照ください。 原則として各月1回。全出席を求めます。やむを得ない理由のある場合必ず連絡のこと。	個々の事情は届出により斟酌しますが、参加率が半分以下の出席の場合は派遣中止審査対象。 2週続けて提出しない場合は派遣中止審査対象とします。 学力の著しい低下、出席日数の不足がある場合。 語学学習の態度が見えない場合 語学試験を受験しない場合 不法、不良行為がある。 独善的な傾向がある。 団体生活に馴染めない。 できないと認める場合。 左記事由がある場合。 派遣中の発生も含む。 クラブ行事に参加しない。挨拶に伺わない。 指導指示に従わない場合。 (派遣中も含む)
	研修、合宿への参加		
	ウィークリーレポートの提出	毎週火曜日にレポートをメール提出します。(言語習得状況、書類作成状況)	
	学業および高校生活の充実	留学準備と学業は競合しません。むしろ	
	語学学習	もちろんこれが基本です。	
	語学試験の受験	英語および派遣国の言語の試験を受験すること。(Toeic, 仏検、独検等) 受験は米国は留学ビザの要件です。	
	人間力の形成向上	人間性の向上、積極性をたかめ、団体生活の適合性を高める努力をする。 友人や先生と多くの会話をする。	
	家事家業の手伝い。	料理、洗濯、その他 家事、家業の手伝いを積極的にし、親と会話をする。	
	病気、ケガの予防	心因性の病気を含め、留学期間中に生活の障害となる病気が発生しないこと	
	スポンサーロータリークラブの行事参加	スポンサークラブの例会に訪問。求められたロータリー行事に参加する。	
	国際ロータリー、ロータリークラブ、青少年交換委員の指導指示に従う。(受入国青少年交換委員会の指示も含む)	青少年交換委員は多くの派遣来日学生と接し、多くの事例を体験しています。また、日本国内、国外の多くの交換委員と常に情報交換をしています。したがって、交換委員の指導指示に従う事は、派遣中の皆さんの安全安心や生活の安定につながる事なのです。	
派遣中の義務	ロータリークラブ、青少年交換委員会の指導指示にしたがう。	指導指示に従わない場合。	
	言語習得の努力をする。	指導指示に従わない場合	
	現地に溶け込む努力をする。	指導指示に従わない場合	
派遣家庭の義務	来日学生のホストファミリーを3ヶ月以上できること。または依頼選任できること。家庭条件は考慮します。		
	来日学生を空港まで送迎をすること。(成田または羽田または中部国際空港)		
経費負担の義務	オリエンテーション参加費用	交通費を負担ください。送迎不要。自立のため公共交通利用が原則です。	
	研修、合宿費用	1月 北信研修 5000円、3月 白馬スキー研修 45,000円程度 4月 中央アルプス 5000円、5月 高山乗鞍研修 5000円 6月 富士合宿 5000円	
	ビザ取得費用	自分で取得します。両親同伴で大使館出頭が原則。交通費、大使館手数料、指定文書翻訳手数料等	
	航空券購入費用	15万円程度 正規オープンチケット往復 派遣国や航空会社等により異なります。	
	交換学生専用保険加入費用	10万円程度 派遣国によって異なります。	
	現地任意旅行費用	10～30万円程度。国によって異なる。参加は完全に任意。	
	来日学生送迎費用	成田または羽田または中部国際空港に原則送迎していただきます。	
	語学研修費	ラジオ講座等の利用で充分ですが、言語教室もなお良い。	
	語学試験受験費用	Toeic 6000円、英検2級 5000円、仏検4級 4500円、独検4級 4000円	
	現地滞在中の任意費用	現地滞在中の学費、日常生活費以外の任意の経費を負担できること。	
	帰国後の義務	クラブへの挨拶	スポンサークラブへの挨拶、帰国プレゼンテーションの実施
帰国報告会の参加		帰国報告会でプレゼンテーション、懇談、帰国報告書作成	
ロータリー地区大会への参加		帰国後のロータリー地区大会(県内開催)への参加が義務となります。	
ROTEX 活動		派遣オリエンテーションの手伝い。合宿への参加 派遣後一年は義務。 派遣経験者は未来永劫に交換学生の学友です。	